サービス概要			データ情報							データ利用ポリシー							
サービスID	サービス名	概要	データ名／機能名	データ種別	データフォーマット	データ期間	データサイズ	時間・空間分解能	単位	データ提供元	データ提供元利用規約	二次利用（再配布を含む目的外の利用）	商用利用 DCCS 利用範囲中	商用利用 DCCS 利用終了後	派生データの作成	派生データの配布	成果公表・引用方法
SG001	ひまわり衛星数値データ（アーカイブ）	1977年打ち上げのひまわり1号から現在のひまわり8号・9号までの全ひまわり衛星の数値データ。	ひまわり衛星アーカイブ数値データ（1～7号）	数値データ	VISSR、HRIT	1981/3/1～2019/11/18	※1日あたりのサイズ ひまわり衛星：5MB～42MB ひまわり２号衛星：5MB～42MB ひまわり３号衛星：5MB～600MB ひまわり４号衛星：30MB～650MB ひまわり５号衛星：200MB～950MB ひまわり６号衛星：1.5GB～3.0GB ひまわり７号衛星：1.0GB～4.5GB	ドキュメントを参照	—	気象庁	リンク	可能。但し、研究開発での利用に限定。商用利用禁止を順守	非商用	（一財）気象業務支援センターから有償でデータ入手可能	可能。但し、研究開発での利用に限定。商用利用禁止を順守		NICT総合テストベッド「DCCS」で提供するひまわり衛星データを利用した旨を記載する。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する
			ひまわり衛星アーカイブ数値データ（8～9号）	数値データ	ひまわり標準、NetCDF	2015/7/7～１日前	※1時間あたりのサイズ ・ひまわり標準データ フルディスク：2.0GB～5.0GB 日本域：400MB～900MB 機動観測域：90MB～210MB ・NetCDFデータ 日本域：500MB～1.2GB 機動観測域：150MB～300MB		—								
SG002	ひまわり衛星数値データ（リアルタイム）	ひまわり8号・9号の24時間以内のリアルタイム数値データ。	ひまわり衛星リアルタイム数値データ（8～9号）	数値データ	ひまわり標準、NetCDF	1日前～リアルタイム			—								
SG003	ひまわり衛星可視光画像	ひまわり8号・9号の可視光画像。3つの可視バンド（青：0.47μm、緑：0.51μm、赤：0.64μm）から作成。気象庁提供画像と色調変換して画像を明るくしたNICT提供画像がある。データの更新のタイミングを知ることができるように最新のファイル名と時刻を記した更新情報を併せて提供。	ひまわり可視光画像（気象庁提供画像）	画像	PNG	2015/7/7～リアルタイム	※1時間あたりのサイズ。時間帯によって異なる フルディスク：10MB～800MB 日本域：500KB～200MB 機動観測域：100KB～50MB	全球：10分、11000x11000 日本域：2.5分、3301x2701 機動域：2.5分、1501x1501	—	気象庁							
			ひまわり可視光画像（NICT提供画像）	画像	PNG	2015/7/7～リアルタイム			—	NICT	—	不可	非商用	可能。【ひまわり衛星数値データ（アーカイブ）】（サービスID:SG001）からの変換プログラムの利用については要相談	可能	可能		
			ひまわり衛星可視光画像（全球）の更新情報	テキストデータ	JSON	最新データのみ	1KB	10分	—								
SG004	ひまわり衛星機動観測域情報	ひまわり8号・9号の衛星数値データ(サービスID:002)に含まれている機動観測域情報を利用しやすいようにテキスト形式で提供。台風や火山噴火などの特定の災害・現象と関連付けたデータ解析が行える。	ひまわり衛星機動観測域情報	テキストデータ	JSON	2015/7/7～リアルタイム	1KB	2.5分	—	NICT	—	不可	非商用		可能	可能	
SG005	ひまわり衛星雲タイル画像	ひまわり8号・9号のバンド３の画像（日本域、アジア・オセアニア域）をWebGISアプリ用にタイル画像化したもの。千葉大学環境リモートセンシング研究センター(CEReS)の協力により、利用しやすいように座標変換を行っている。XYZ方式でアクセスできる。	ひまわり雲タイル画像（日本域）	ラスタータイル画像	PNG	2022/8/01～2024/6/27	325 GB/月	2.5分	—	NICT	—	不可	非商用		可能	可能	
			ひまわり雲タイル画像（アジア・オセアニア域）	ラスタータイル画像	PNG	2023/10/11～リアルタイム	71 GB/月	2.5分	—								
SG006	高解像度降水ナウキャストデータ（数値データ）（準備中）	高解像度降水ナウキャストデータ(GRIB2形式)を、利便性を考慮してデータ変換した数値データ。数値データを用いて250mメッシュでのデータ解析が行える。	高解像度降水ナウキャスト数値データ	数値データ	（準備中）					株式会社ウェザーニューズ	—	不可	非商用	ウェザーニューズ社に個別に相談の上、有償で利用可能	可能	不可	NICT総合テストベッド「DCCS」を利用した旨を記載する。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する
SG007	高解像度降水ナウキャストデータ（タイル画像）	高解像度降水ナウキャストデータ(数値データ)をもとに、線状降水帯やゲリラ豪雨を見やすいように、カラーマッピング化したスケーラブルなピラミッドタイル画像。XYZ方式でアクセスできる。	高解像度降水ナウキャストタイル画像	ラスタータイル画像	PNG	2015/5/10～リアルタイム	547 GB/年	5分	—								
SG008	数値予報モデルGPV（数値データ）	気象庁が提供する数値予報モデルGPVの内、気温、湿度、日射量、風向、風速の数値予測データを提供。本サービスでは、利用者が使いやすいように時間や空間の範囲などの検索条件に該当する数値予測データを取得できるWebAPIを用意。	メソ数値予報モデルGPV(MSM)データ取得API	テキストデータ	JSON	直近1ヶ月前～24時間先	—	1～3時間、5km	—	NICT	—	不可	非商用	データは気象庁のデータの配信サービス業者から有償で入手可能。WebAPIに関するプログラムの利用については要相談	可能	可能	NICT総合テストベッド「DCCS」を利用した旨を記載する。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する
SG009	3D WebGISで活用できる地理情報	様々な地理情報（緯度・経度、住所、行政区画名、行政境界ポリゴン、建物情報など）を紐づけることで相互に検索可能なWebAPIを提供。地理情報と他の機能・データを組み合わせたGISアプリケーションを開発する場合に有用。本サービスでは以下の地理情報が利用可能。 ・PLATEAUデータ（データ提供元：国土交通省） 国土交通省 PLATEAUウェブサイトで公開されている3D都市モデルの内、建物を識別する「建物ID」を利用可能。（建物をポリゴン表示する場合、3D都市モデル自体は別途ユーザー側でご準備ください。） ・国土数値情報（データ提供元：国土交通省） 国土交通省 国土数値情報ダウンロードサイトで公開されている国土に関する基礎的な情報の内、公共施設に関する情報（施設名、住所など）を利用可能。 ・e-Stat公開データ（データ提供元：総務省） 政府統計ポータルサイトで公開されている日本の統計データの内、行政境界ポリゴン（都道府県から町丁目レベルまで）を利用可能。	住所取得API(緯度・経度→住所)	テキストデータ	JSON	現在は以下の地域のPLATEAU建物データに対応。 東京都 池区（2023年度） 東京都 品川区（2024年度） 東京都 江東区（2023年度） 茨城県 つくば市（2022年度） 福岡県 北九州市（2020年度） 上記地域以外のPLATEAU建物データの利用については要相談	—	—	—	PLATEAUデータ（国土交通省）	リンク	不可	非商用	データはデータ提供元のデータ公開サイトから入手可能。データの商用利用についてはデータ提供元の利用規約をご確認ください。WebAPIに関するプログラムの利用については要相談	可能	可能	データ提供元の利用規約に従い、出典を記載する。 また。NICT総合テストベッド「DCCS」を利用した旨を記載する。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する
			行政区画名取得API(緯度・経度→行政区画名)	テキストデータ	JSON		—	—	—								
			位置情報取得API(住所→緯度・経度)	テキストデータ	JSON		—	—	—								
			位置情報取得API(行政区画名→緯度・経度)	テキストデータ	JSON		—	—	—								
			建物情報取得API(建物ID→建物情報)	テキストデータ	JSON		—	—	—	国土数値情報（国土交通省） 上記サイトでデータに合った利用規約をご確認ください。	リンク（CC BY 4.0） リンク（非商用） リンク（商用可）						
			建物情報取得API(位置情報→建物情報)	テキストデータ	JSON		—	—	—								
			建物ID取得API(建物名称→建物ID)	テキストデータ	JSON		—	—	—	e-Stat公開データ（総務省）	リンク						
			建物ID取得API(住所・行政区画名→建物ID)	テキストデータ	JSON		—	—	—								
			建物名称取得API(位置情報→建物名称)	テキストデータ	JSON		—	—	—								